

令和5年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	5	議席 番号	9	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1		富士宮の畜産酪農の現状について		<p>当市において畜産酪農は、朝霧地域の主な産業である。また同地域の観光においてもなくてはならない要素の一つとなっている。しかし、それと同時に現在様々な問題を抱えており大きな転換期を迎えている。持続可能な畜産酪農へ向けて、行政として方向性を示すべきときが来ていると感じ、以下質問する。</p> <p>(1) 当市における畜産酪農家数と飼育飼養頭数について。また必要とされる牧草地について。</p> <p>(2) 乳価の現状と、乳牛飼養(酪農)並びに肉牛飼育(畜産)の経営状況について。</p> <p>(3) ふん尿処理の状況について。</p> <p>(4) 飼料の入手状況について。また、高騰による影響について。</p> <p>(5) 今後、飼料の自給化を促す施策を進めていってはどうか。</p>		市 長 副 市 長 関係部長
2		富士宮の少子化対策について		<p>少子高齢化に伴う人口減少はこれからの日本の大きな問題である。少子化は経済の成長力の低下をもたらすとともに、年金・医療など社会保障制度の安定性を揺るがすものであり、この点から「静かなる有事」とも呼ばれている。遅きに失した感はあるが、岸田首相が少子化対策に本格的に力を入れ始めたことは歓迎すべきである。当市の少子化対策に対する今後の方針について伺う。</p> <p>(1) 近年の人口推移と減少割合について。また出生数の推移について。</p> <p>(2) 出生数減少の要因について、どのように考えているか。</p> <p>(3) 政府は3月までに少子化対策のたたき台をまとめるようであるが、それについての情報は入ってきているか。また当市として対策に期待するものは何か。</p> <p>(4) 富士宮市として少子化対策について取り組む今後の姿勢について。また具体的な施策として考えているものはあるか。</p>		市 長 副 市 長 関係部長